

オンライン施設ケアカフェ

令和7年7月25日（金）19：00～21：00

一般社団法人神奈川オレンジネットワーク

神奈川県認知症介護指導者連絡会

神奈川県看護指導者会

# 認知症になっても『自分で決める』

## その人中心のケアの実現のために・・・

～かながわLTCネットワーク設立までの経緯について～



神奈川県認知症介護指導者連絡会 会長  
横須賀老人ホーム 理事（兼）所長  
佐野 芳彦

（本日のテーマ）

## その人中心のケア（パーソン・センタード・ケア）

パーソン・センタード・ケアは本人の価値観・生き方・  
『その人らしさを大切にしたケア』



認知症ケアにおける最も重要な概念であり、「意思決定  
支援」と深くつながっている。

(本日のテーマ)

## 認知症になっても『自分で決める』

- ① これまでは「本人の代わりに誰かが判断する」が多く、本人の意思が軽視されがちだった。
- ② 介護保険施設においては、本人の意思をどう尊重していくかが大きな課題となっている。



(意思決定支援を支える法制度の現状)

共生社会の実現を推進するための認知症基本法（2023年）

認知症基本法は、

「できる限り自分で決める」  
「決めるための支援を受けられる」

ことを位置づけている。



## 認知症の人の『意思決定支援』とは・・・

認知症の人の持っている能力を  
最大限に活かし、**自分の望む選択**  
**を周囲が尊重して支えていくプロ**  
**セス**



編集 認知症介護実践研修テキスト編集委員会 「認知症介護実践標準テキスト～実践リーダー編～」中央法規 2022年 P 77

## 『自分で決める』ことの意味

人は誰でも、自分の人生のことを自分で決  
めたいという「**自己決定の欲求**」を持っている。

認知症になっても「**自分の意思を尊重されたい**」という気持ちは残っている。



## 『意思決定支援』の3つの枠組み

### ①自己決定

本人が自ら意思を表明し、決定する。



### ②推定意思に基づく決定

本人の過去の価値観や行動から意思を推定し、“この人ならどうした  
いか”を支援者が判断。

### ③最善の利益に基づく決定

推定も難しい場合に、本人の安全・健康・尊厳を考慮して支援者が判断。

#### (意思決定支援の施設の現状)

Q1) **入所になる際**の意思決定支援について、どのように実践されていますか？  
(一部紹介)

- ① 本人にも好きな事、嫌いな事、生活に関する意向、これまでの生活の中で大切にしてきたことを確認。
- ② 本人が施設入所を希望していない場合など、家族の意思決定が優先されている現状がある。  
→ただ、本人の気持ちへの配慮も必要であることを説明し、入所前に、本人と家族で直接お話をして頂く機会の提案は行っている。



## (意思決定支援の施設の現状)

Q2) **日常生活上**での意思決定支援について、どのように実践されていますか？  
(一部紹介)

- ① 言葉でのコミュニケーションが難しい方については、本人の表情などを見ながら、本人がどのように感じているのかを読み取るように努力している。
- ② 入所しても在宅生活で行ってきたことをできるだけ続けることを大切にしたいと考えているが、現状ではできていないことが多い。
- ③ ご利用者に声掛けを行っていますが、職員の判断で動いていることが多い。



神奈川県高齢者福祉施設協議会横須賀地区福祉連絡会施設長会アンケート：R7.6.9～R7.7.10

## (意思決定支援の施設の現状)

Q3) **看取り期**での意思決定支援について、どのように実践されていますか？  
(一部紹介)

- ① 入所時と看取り期に急変時の対応・延命処置についての確認と看取り期になった際の対応について、最後はどこで看取りを希望されるかの確認をして、ご希望に添っての実践している。
- ② 看取り期では、本人の状態と家族の想いに差があり、職員としてどうしていいか悩むことがある。例えば、本人は食事ができない状態であるが、家族は「食べさせてほしい」。スタッフは本人が元々食べることが好きだった方であるも状態を考えると判断が難しい。



神奈川県高齢者福祉施設協議会横須賀地区福祉連絡会施設長会アンケート：R7.6.9～R7.7.10)

# 横須賀地区施設長会職員のアンケート結果からみえた 意思決定支援の課題

- ①本人が意思を表明する機会がまだ十分とは言えない。
- ②職種間や家族との情報共有が不十分である。



## 何が意思決定支援を阻んでいるのか？

### ①本人の意思がわからない

意思・希望が曖昧、未形成  
意思・希望が不安定  
本人の意思を受け止める手立てがない

### ②本人の意思決定能力があるかどうかわからない

意思がない（不明瞭）と判断し代理代行決定に移るのが早い

### ③意思決定に対する葛藤（コンフリクト）が生じている

本人と周囲の葛藤  
意思決定者の希望が、実現可能性が低い  
意思決定者の希望は危険だ  
周囲どうしの葛藤



# 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援 ガイドライン（第2版）～令和7年3月

「どう関わればよいか」など、判断が難しいケースが多く存在していた。支援者や家族が共通の考え方に基づき行動できるよう、統一的なガイドラインの必要性が高まった。



意思形成支援



意思表明支援



意思実現支援

ガイドラインでは、認知症があっても、『意思形成』『意思表明』『意思実現』のプロセスを支援し、人としての尊厳を尊重しながら生活を送れる社会を実現することを目指している。

## 『意思決定支援』で大切にしたいこと

- ① 本人の好きなこと、嫌いなことを知らないと思決定支援は始まらない。
- ② 本人に代わって決めるのは最後の手段。判断できないのではなく、想いを形にするのが苦手かも。「今は決められない」という選択肢も大切にする。
- ③ 自分が選んだことが実現されると、それは本人の生きる力になる。



「表明された意思」や「推定される意思」  
を尊重する姿勢から始める。



# かながわLTCネットワーク設立経緯

## ～介護施設の現状～

- ① 感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られた。
- ② 介護職不足を背景として、職員の倫理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出している。
- ③ 他施設職員との関りが少なく、結果として各施設が不適切ケアなどの課題の解決策が見いだせない。



## かながわLTCネットワーク設立趣意書

～令和6年11月10日～

- ① 認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の研修会の開催
- ② 施設職員の悩みを語り合う場を造り、士気を高めていく
- ③ 認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つなどの活動を通して、施設の課題解決の一助となるために「かながわLTCネットワーク」を立ち上げたいと考えた

### 【設立代表者】

神奈川オレンジネットワーク理事  
神奈川県認知症介護指導者連絡会顧問 松浦美知代

### 【設立協力者】

神奈川県認知症介護指導者連絡会 佐野・嘉山

### 【実施団体】

神奈川県認知症介護指導者連絡会

### かながわLTCネットワーク 設立趣意書

#### I. 設立経緯

近年、在宅地域においては、認知症の当事者や介護されているご家族、または認知症に関心のある人や医療・介護・福祉の専門職など、誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的にした認知症カフェ（オレンジカフェ）や、お話を飲み交わしながら認知症を語り、交流を深め活動（オレンジパル）が各地で行われている。しかし介護施設の現状を背景とし、新型コロナウイルスによる感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られ、さらに倫理的な介護職不足を背景として、ご利用者に生活のしにくさを感じさせ、職員の倫理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出していると思われる。

加えて、他事業所の従事者等の関りが少ない状況も否定できず、結果として各施設が不適切ケアや高齢者虐待などの課題の解決策を見いだせず、時代逆行している現状があるのではないかと危惧している。

そのような背景から、①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を造り、その語りを通して士気を高められるようサポートしていく

③認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つ などの適切な活動を通して現状の施設の課題解決の一助となるネットワークを立ち上げたいと考えた。

#### II. 名称

##### かながわLTCネットワーク

※LTCとはロング・ターム・ケアの略。ロング・ターム・ケアとは、長期ケア施設（特養・老健・療養型・グループホーム等）でのケアを指す。

※本ネットワークは、前文の「設立経緯」にある介護施設の現状があるなか、認知症基本法が策定されたことも踏まえ、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるように、『認知症施策』『権利擁護』の取り組みを発信していきたい。

#### III. 企画・立案・運営

1. 本ネットワークは、神奈川県認知症指導者・の拘束なき介護推進委員会・ネットワーク活動に賛同された人が地区別にグループを構成し趣向に沿った活動を行う

2. 自分が所属する地域グループの施設介護サービス従事者を対象に下記の 内容を企画・立案し、運営を行っていく

3. 企画や運営をネットワークの仲間と話し、相談を行える体制を整える  
相談や実施予定や結果については、メッセージ（SNS）を活用し仲間同士の情報共有を行う

4. 開催にあたっては、参加希望者が気軽に参加できる環境とする

- 1) カフェミーティング
- 2) 研修会
- 3) 座談会（パルミーティング）など

また企画にあたっては、認知症介護の質の向上と従事者の社会的地位の向上に寄与する効果が得られ、継続的に実施できる内容となることを期待したい

令和6年11月10日

設立代表者 松浦 美知代

設立協力者 佐野 莉奈

嘉山 誠志

# かながわLTCネットワーク設立経緯 ～ネーミング～

「LTC」とはロング・ターム・ケアの略。

➤ロング・ターム・ケアとは、長期ケア施設  
（特養・老健・療養型・グループホーム  
等）でのケアを指す。



## かながわLTCネットワーク取り組み①

～令和6年度横須賀地区福祉連絡会介護技術研修会 36名出席 R7.2.3～

### 【目的】

LTCを担っている職員を対象に研修を開催し。リアクションやアンケートから現場で求めているニーズを明らかにし、今後のLTCネットワークの活動を考察する。

### 【方法】

LTC初回研修として「認知症の理解の変遷と施設ケア」をテーマに、①認知症基本法が施設Careに与える影響 ②ICFの理論を基盤とした認知症Care、③意思決定支援を可能にする環境調整とは、などを説明した。



### 本日の研修のねらい

- ・身体拘束11項目の再確認
- ・神奈川県における身体拘束の実態
- ・パーソン論とは
- ・認知症基本法が施設Careに与える影響
- ・ICFの理論を基盤とした認知症Care
- ・人間の欲求とBPSDとの関係
- ・意思決定支援を可能にする環境調整とは
- ・生活障害（食事・排泄・入浴）のグランドルールの紹介

## かながわLTCネットワーク取り組み②

～令和6年度横須賀地区福祉連絡会介護技術研修会 36名出席 **R7.2.3**～

【結果（アンケートより）】回収率は100%。

①現場で活用できる内容が聞けた。②職員主導の感覚的対応をしていたことに気づけた。③困った行動には背景に欲求がある。多面的に考える必要性を知った ④困った時こそゼロから見直そうと思った ⑤日常倫理を基盤として意思決定支援の機会を増やしていきたい ⑥上司への期待と望む姿などが受講生の声として示された。

【考察】

傾聴姿勢が真摯で意欲を強く感じた。説明に合致する利用者を視野に入れHowe—twoを獲得しようとする姿勢が示された。施設のルールや行政の基準が利用者主体のCareを阻んでいること、ゼロベースで利用者を再評価することや多職種でアセスメントを協働することの重要性も示された。さらに学んだ知見や見識を現場で行かしていきたいとの前向きな意見も目立ったことに期待が高まる。今後のテーマとして他職種と連携が示された。

【結 語】

研修を目的化せず、利用者、職員双方が望む暮らしが実現できる社会の創造に向けてできることから、共感し合える仲間と研鑽を重ね、具体的な活動を前に進めていきたい。

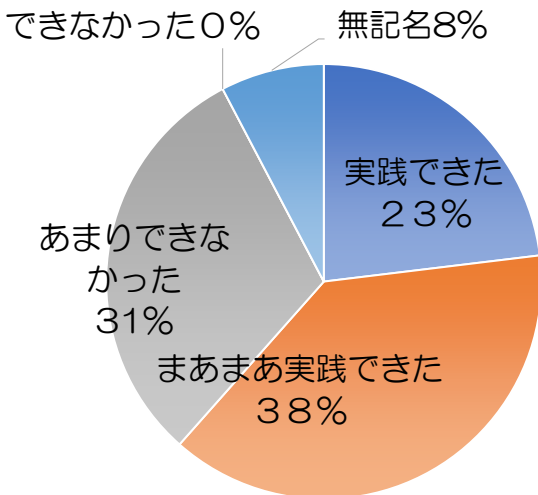


「かながわLTCネットワーク研修の評価から活動の姿を考察する」 松浦 美知代 令和7年7月1日

## かながわLTCネットワーク取り組み③

～（R7.2.3）研修3ヶ月後のアンケート（一部紹介） 13名 回収率36%～

### Q 研修で学んだことを実践に活かすことができましたか？



実践できた+まあまあ実践できた **61%**  
あまりできなかった **31%**

- ①いきなり職員が介助するのではなく、本人が自力で食べられるのかどうかを再確認した。
- ②今回の研修を受けて、認知症の方の意思決定支援能力を引き出すことを心がけています。
- ③排便調整については医師や看護師との関係もあり、あまり実践できていません。

## かながわLTCネットワークの取り組み④ ～令和7年4月22日～

令和7年4月22日に『神奈川県高齢協横須賀地区施設長会』に提案し、協力をいただくことになった。



## 『かながわLTCネットワーク (横須賀版)』

一般社団法人  
神奈川県高齢者福祉施設協議会  
横須賀地区福祉施設連絡会  
代表 森 弘樹 様

神奈川県認知症介護指導者連絡会  
会長 佐野 芳彦

かながわLTC ネットワーク活動趣旨書 (ご相談)

### 1) 神奈川県認知症介護指導者連絡会とは

私たちは神奈川県認知症介護指導者連絡会は、神奈川県から委嘱を受けた認知症介護指導者（厚生労働省認定）が、介護サービスで認知症ケアに関わる介護職員の資質の向上及び地位の確立を図るとともに、関係機関との連携を通じて、認知症の人のサービスの向上を図ることを目的に、令和4年7月16日に設立しました。

### 2) 認知症介護指導者とは

認知症介護指導者とは、認知症介護実践研修等について企画・立案への参画や講義・演習・実習の講師を担当、事業所等を中心とした地域の認知症ケアの質の向上に向けたアドバイス等を行う役割も担っています。

### 3) かながわLTC ネットワークとは

近年、在宅地域においては、認知症の当事者や介護されているご家族、または認知症に関心のある人や医療・介護・福祉の専門職など、誰でも参加して認知症の理解を深めることを目的にした認知症カフェ（オレンジカフェ）や、お酒を飲み交わしながら認知症を語り、交流を深める活動（オレンジバル）が各地で行われています。

しかし介護施設の現状を散見すると、新型コロナウイルスによる感染症対策が優先され閉鎖的な環境が作られ、さらに機能的な介護職不足を背景として、ご利用者に生活のしにくさを感じさせ、職員の倫理観を持ったケアが十分できないといったジレンマを生み出していると思われます。

加えて、他事業所の従事者との関わりが少ない状況も否定できず、結果として各施設が不適切ケアや高齢者虐待などの課題の解決策が見いだせず、時代に逆行している現状があるのではないかと危惧しています。

そのような背景から、本会では①認知症の人や介護職員の願いが叶えられる介護の実践を可能にする知識と技術を獲得する研修会の開催や、②施設職員の悩みを語り合う場を造り、その語りを通して士気を高められるようサポートしていく、③認知症当事者やご家族からご意見をいただく機会を持つ などの適切な活動を通して現状の施設の課題解決の一助となるネットワークを立ち上げたいと考えました。かながわLTC ネットワークを神奈川県内各市町村で活動を行う方向で調整を始めています。

## かながわLTCネットワーク（横須賀版） ～令和7年7月11日～

『かながわLTCネットワーク（横須賀版）』スタート。

合言葉は・・・

『現場職員同士のネットワーク作り、  
悩みを一緒に乗り越えよう』

### 【内容】

- ①自己紹介
- ②アンケートの共有
- ③本音トーク
- ④今後に向けて



### 第1回 神奈川県LTCネットワーク（横須賀版） 次期

～横須賀市内介護保険施設現場職員同士のネットワークを作り、  
認知症ケアの悩みを一緒に乗り越えよう～

1. 開催日時 令和7年7月11日（金） 17:00～19:00

2. 開催場所 横須賀老人ホーム 5 階研修室

3. 開会のご挨拶

神奈川オレンジネットワーク理事 松浦 美知代

神奈川県認知症介護指導者連絡会会長 佐野 芳彦

（横須賀老人ホーム所長）

4. 担当の紹介

研修担当：緒方弘美（衣笠ホーム）・樋口洋一（シャローム）

鈴木健之（横巻）・岩崎剛（横巻）・薄井洋子（横巻）

事務担当：高山武志（横巻）・宮崎和久（横巻）

責任者：佐野芳彦（横巻）

5. グランドルールの確認

①会で話したことは口外しない

②他施設の良いところは積極的に自事業所でも取り入れる

③多様な意見、違う視点を楽しむ

④職員のスカウトはしない

6. 内容

①自己紹介（名前・職種・事業所など）

②アンケートの共有

別紙資料1 をご確認ください。

③本音トーク（グループごと）

④今後に向けて

7. オープナーより

8. 開会のご挨拶

認知症介護指導者連絡会副会長

緒方弘美

（衣笠ホーム）

次回日時：令和7年9月19日（金） 17:00～19:00 衣笠ホーム

## かながわLTCネットワーク（横須賀版）：本音トーク

～令和7年7月11日（金）：8施設29名参加＋認知症介護指導者7名～

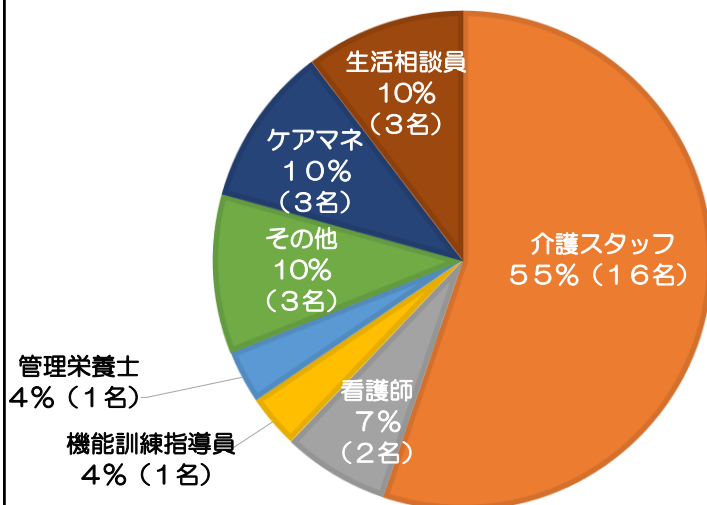
- ① 感情失禁がある利用者、近づきすぎてもダメだし、遠目にみる事しかできない。タイミングによっては職員に手を挙げてしまう。
- ② 落ち着かない利用者と一緒に過ごすと落ち着くが、他者の対応があり付き添いことができない。
- ③ 利用者との向き合えていない。
- ④ まずはアセスメント！
- ⑤ 介護と事務所が相談しやすい雰囲気。
- ⑥ ルールは最小限でいいのでは。



## かながわLTCネットワーク（横須賀版）：アンケート

～令和7年7月11日（金）：8施設29名参加＋認知症介護指導者7名～

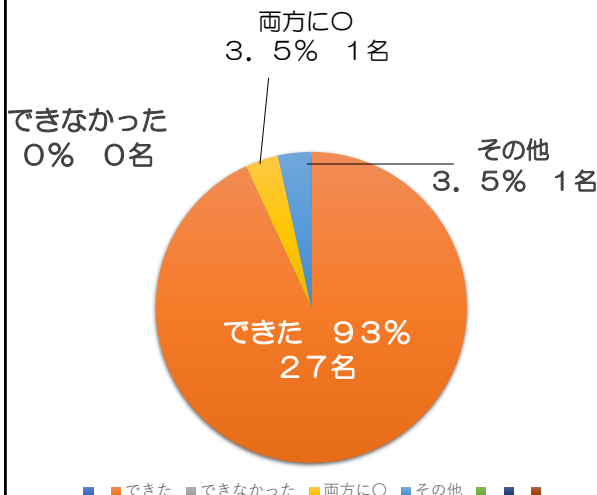
### Q1 あなたの職種は？



# かながわLTCネットワーク（横須賀版）：アンケート

～令和7年7月11日（金）：8施設29名参加＋認知症介護指導者7名～

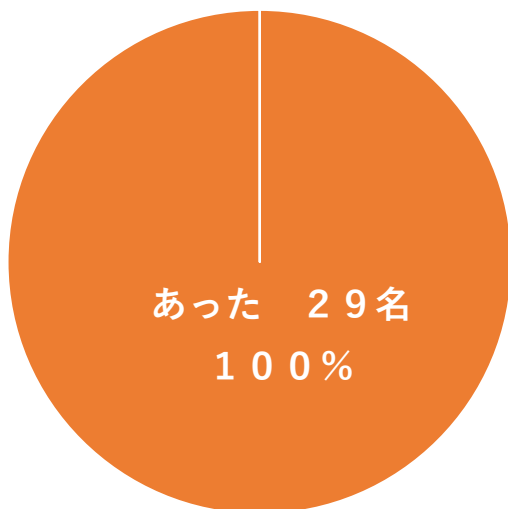
## Q2 「本音トーク」では、グループ内でご自身の話ことができましたか？



# かながわLTCネットワーク（横須賀版）：アンケート

～令和7年7月11日（金）：8施設29名参加＋認知症介護指導者7名～

## Q3 本日の研修で、学びはありましたか？



① どの悩みも、パーソンセンタードケアが実践でき、問題点を共感できれば解決策を見つけていくことができると感じた。

② 自分の悩みと他施設の方が同じ悩みを持ち、解決していくヒントを得られたので、とても良かったです（ケアの統一や情報共有）。

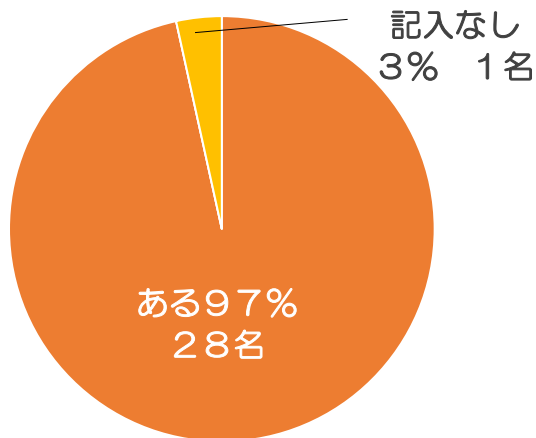


# かながわLTCネットワーク（横須賀版）：アンケート

～令和7年7月11日（金）：8施設29名参加＋認知症介護指導者7名～

## Q4本日の研修での学びをふまえ、今後に生かせることがありますか？

ある：28名・ない：0名・記入なし：1名



①利用者をよく知りたいと思う心が大切である。

②悩みを話し合えることは、すごく良いと思いました。グチではなく、前向きに考えていきたい。



## 『かながわLTCネットワーク』の今後の方向性

- ① 横須賀地域からスタートしたが、特養職員のみでの参加であったので、横須賀市内の老健やグループホーム、小規模多機能（令和7年7月28日提案予定）能などに活動を広げたい。
- ② 横須賀地域の施設職員だけではなく、地域住民の皆様にも活動を知ってもらいたい。令和7年10月30日に社会福祉協議会の研修会にて、地域住民の方に「認知症共生社会に向けた地域づくりとLTCネットワーク」についてお話をする予定。
- ③ 横須賀地域だけではなく、皆様の活動する地域にも活動を広げたい。
- ④ 神奈川県看護指導者会との連携を図っていきたい。
- ⑤ 施設、在宅の枠を超えた共生社会づくりの一助になりたい。



## 結語

～問題解決型支援（BPSDケア）から本人の想いから始める支援（意思決定支援）へ～

認知症になっても、本人の意思を尊重した支援を実現し、自分らしく暮らせる社会を作るために、職種の壁や施設・在宅の枠を超えたネットワークを皆で一緒に作っていきましょう！！



神奈川県認知症介護指導者連絡会

あたたかくつなぎ、ともに生きる

神奈川県認知症介護指導者連絡会

研修資料

2025.07.15 研修資料

令和7年度 第1回 神奈川県認知症介護指導者連絡会研修の開催実況に関するシート（職場実習3-0）です。お知らせリーダー研修資料もご覧ください。なお、パスワードは講師設定の講義中にお伝えしたものにりますので、ご注意ください。>

2025.07.15 研修資料

令和7年度 第1回 神奈川県認知症介護指導者連絡会研修の開催実況に関するシート（職場実習3-0）です。お知らせリーダー研修資料もご覧ください。なお、パスワードは講師設定の講義中にお伝えしたものにりますので、ご注意ください。>

- 2.実習計画書（職場実習3）.xlsx
- 3.面接記録（職場実習3）.xlsx
- 4.能力評価表（職場実習3）.xlsx

本日の佐野の資料は、『神奈川県認知症介護指導者連絡会』のホームページで7/26（土）の9：00に公開させていただきます。

- ①神奈川県認知症介護指導者連絡会ホームページ検索
- ②お知らせクリック
- ③研修資料クリック

神奈川県認知症介護指導者連絡会 | あたたかくつなぎ、ともに生きる

<https://k-nintishou-shidousha.link/>






一般社団法人神奈川オレンジネットワーク 神奈川県 共催

# 世界アルツハイマーデー（認知症の日）講演会

8月24日（日）13:00～16:00 12:30 開場

会場 神奈川県民センターホール 横浜駅西口徒歩5分・横浜有明館内2丁上・24-2

**講演Ⅰ**

## 認知レジリانسについて

～脳にアルツハイマー病の病変があっても認知症にならない人がいます  
講師：長田乾氏 横浜総合病院認知症疾患医療センター長

**講演Ⅱ**

## 認知症医療とケアの意思決定をいかに支援するか

～共同意思決定の考え方から  
講師：繁田雅弘氏 栄徳歯科診療所院長、東京慈恵会医科大学名誉教授

**シンポジウム**

## 認知症の人の意思決定について考える

座長：長田乾氏

**当回事者の立場から**

～認知症がありますが自分の意志で一人暮らしを続けています  
平澤英昭氏 認知症当事者

**在宅介護の立場から**

～アルコール依存症を合併した認知症の方への断酒の意思継続支援  
稲田秀樹氏 施設さくらコミュニティケアサービス

**施設介護の立場から**

～介護保険施設に於ける意思決定支援の現状と今後の方向性について  
佐野芳彦氏 神奈川県認知症介護指導者連絡会会長

**家族の立場から**

～疾心の進行に合わせた本人の意思の尊重を振り返る  
木村仁氏 老年性認知症グループホーム代表者

全日程・リレーメッセージ・アンケート / 地域の取り組みの資料・企業展示コーナー

〇〇〇〇〇参加申込は左の2次元コードからどうぞ

申込み先名簿  
の発行・神奈川オレンジネットワーク事務局 mail: [orange@t14108@nifty.com](mailto:orange@t14108@nifty.com) (090-7810-4033/福岡)  
小倉市オレンジネットワークのホームページにて講演の情報を掲載しています。ぜひひき  
きお聴き。一般社団法人神奈川オレンジネットワーク 神奈川県 協力・神奈川県認知症介護指導者連絡会  
横浜・横浜総合病院 西川小川 相模原市川本建設協賛企業会 認知ケア専門士単位認定施設 3単位




本日少し触れさせていただいた、  
『意思決定支援』について  
は・・・

令和7年8月24日（日）で開催される

『世界アルツハイマーデー（認知症の日）講演会』でもう少し深掘りさせていただきます。ご参加、お待ちしております。



## 引用文献・参考資料

- ▶ 名川勝・水島俊彦・菊本圭一＝編著 日本相談員支援専門員協会＝編集協力 『事例で学ぶ 福祉専門職のための意思決定支援ガイドブック』 中央法規出版 2021年
- ▶ 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン（第2版） 厚生労働省 令和7年3月
- ▶ 月刊ケアマネジメント 2023年9月号
- ▶ ご本人らしい生き方にたどり着く 意思決定支援のために 厚生労働省
- ▶ 高齢者福祉施設における認知症高齢者の意思決定支援に関する実践ガイド 浜松医科大学臨床看護学講座老年看護学 鈴木みずえ 金盛琢也 内藤智義 稲垣圭吾
- ▶ 「認知症の理解の変遷と施設ケア」令和7年2月3日 講義資料 松浦 美知代
- ▶ 「かながわLTCネットワーク研修の評価から活動の姿を考察する」令和7年7月1日 松浦 美知代

